

9条改悪阻止など4項目

市民連合が野党要望書

〇日本シンポン

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める
市民連合（市民連合）は29日、ホームページに「2022年参議院選挙における野党に対する希望書（案）」を公表しました。

「政策希望書（案）」は、参院選ではロシタによるウクライナ侵略との激動の中で、「戦後日本の進路」が問われてみると強調。市民連合は野党各党と立憲主

義回復と安保法制廃止を求めて4回の国政選挙をたたかっているとし、野党たる立憲主義、立憲主義、民主主義を守り、育むためには、「2022年参議院選挙における野党に対する希望書（案）」を公表しました。

「政策希望書（案）」は、参院選ではロシタによ

り、「平和国家路線の堅持と発展」では、「憲法防衛に基づく安全保障政策を着実に進め、非核三原則を堅持し、憲法の条の改悪を許さない。辻野古新基

地建設は止め、「このままでは、脱炭素社会を早期に実現する」ことを要望。

「3 気候変動対策とエネルギー転換の推進」では、「原発にも化石燃料とも頼らなくな

れるエネルギーへの転換を進めるための政策の拡充」では、「新型コロナウイルスの教訓を踏まえて医療政策の再建を行なう」など、「金融所得課税を始めとする税、社会保障料金の適正化」によって社会保障、社会福祉の拡充を進める」とあります。

安保法制廃止明記

「4 平等と人権保障の徹底」では、「選択的夫婦別姓制度などの法制度整備を急ぐ」ととも、「女性に加えて、LGBTQ、外国人、障がい者などに対するあらゆる差別を絶する」などを掲げています。

市民連合は、一人区での野党協力を最大限に活用するが常壊する予定です。

主導の西村智奈美幹事長、社民党の福島みずほ幹事長が登壇する予定です。

実現する」と求め、野党が共有すべき政策を提案・要望するため

に、9月の日本シンポンを開催します。シンポジウムには、野小惑星記局長、立憲民主党の辻野古新基と、立憲主